

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価集計

H30. 8月実施 配布: 8人 回答8人

チェック項目		はい	どちらとも	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	2	・個別に配慮が必要な利用者が多い日には、他利用者が利用できる部屋が限られてしまうこともある。 ・夏場は暑さの為、プレイルームが使用できない。
	2 職員の配置数は適切であるか	0	2	6	・指定基準は満たしているものの、利用者の活動を制限せざるを得ない日があったり、他部署の職員の協力をもらっている状況を考えると、適切とは言えない。 ・デイサービスと一緒にこなっている日中一時支援事業の利用者が増加傾向にあることや、支援度の高い方も多いため、デイサービスの職員が手薄になりがちな状況。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	・車椅子利用の方が2階(プレイルーム)へ移動できない。 ・玄関・室内において、スロープ・手すり・身体障がい者用トイレ等設置されているが、玄関から外へ出るとしばらく砂利道が続いており、十分に配慮されているとは言えない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	6	2	・中長期計画や年間計画、年度末の報告等で、目標・課題の確認、振り返りをする機会はあるものの、パート職員も含めた全ての職員が参画出来ているわけではない。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	4	0	・利用についての要望等は、年度初めの調査票の配布によって把握するよう努めていたが、このような評価表の活用は今回が初めてであり、今までのやり方では不十分であったと思われる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	3	※今回が初めての実施。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	2	・外部評価は行ったことがない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	1	・研修の機会はあるものの、全職員が同じ研修を受けることは現実的に難しい。研修を受けた職員が会議等で全体に周知していく必要がある。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	2	・契約に際して保護者や関係者等から聞き取りを行ったり、毎年ニーズ調査を行い、計画に反映させているが、アセスメント方法としては確立できていない。 ・チーム全体でアセスメントをじっくり行う時間が確保できていない。アセスメントの取り方自体も研修等必要。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3	3	・現在のアセスメントツールは法人全体で使用しているものであるが、児童期の利用者への活用においては適しているとは言えない。他事業所で使用しているものも参考にしながら、ツールの整備が必要。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4	1	・職員数名で意見を出し合うことはあるが、担当者に委ねることが多い。時間を確保し、内容を精査したり、検討する場が必要。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5	0	・新しい遊具を購入したり、外出先を変えるなどの工夫をしているが、今後もチームで定期的に検討していく必要がある。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	5	3	・きめ細やかとまではいかないが、平日には時間の都合上なかなか実施できない活動を、休日や長期休みに設定している。 ・休日や長期休暇中に学校での取り組みが途切れないよう、学校と共通の課題に取り組んでいきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3	1	・集団活動の提供が十分ではないと感じる。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	4	1	・基本的に平日のみの実施にとどまっている。休日や長期休暇中については勤務体制や送迎の都合で、職員がそろった状態での打ち合わせが出来ていない。その場合は日案を作成し、その日の役割について各自確認するようにしている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	6	・引継ぎ事項は記録に残すようにしているが、勤務体制等の都合で、当日の勤務職員が集まった状態での打ち合わせは行えていない。 ・支援後に打ち合わせが出来ない分、午前中の時間帯にそのような時間帯を設けるべきだと思うが、他部署の応援や不登校児の支援等により、実施できていないのが現状。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	4	1	・記録を支援に活かせていないところがあると思う。 ・正しい表現方法やどのような情報を記録しておくか等、改めて共通認識が必要。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3	0	・行っているものの、本来の時期より遅くなりがちである。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	1	6	1	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3	0	・会議が行われる際には、基本的に各担当者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1	1	・左記に挙げられているようなことは出来ていると思うが、さらに学校とケア会議等行い、支援方法や方向性を統一出来たらと思う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	3	※受け入れ実績なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	3	・各機関との直接の連携ではなく、相談支援員を介しての情報共有に留まっている。必要に応じて各機関への訪問や移行に向けた会議を行い、情報共有に努める必要があると思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	6	1	・法人内の事業所へ移行する場合は提供できているが、他事業所の場合は依頼を受けてからの提供に留まっており、積極的には行っていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	7	1	・直接左記のような機関と連携は出来ていない。必要に応じて専門機関の方に助言を頂いたり、研修の場を設けることも取り入れたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	7	・長期休暇や代休日などを利用して、在籍校や近隣小学校の児童クラブと交流する機会を設定しても良いと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	5	・今までは相談支援員のみ参加であったが、今年から協議会の中に「こども部会」が加わったこともあり、今後は当事業所職員も参加する予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	5	0	・日頃から情報共有に努めているが、じっくり話せないこともある。 ・面談の機会以外にも、日頃のやりとりを今よりも密にして、どの保護者に対しても確実なやりとりの場を保障する必要があると思う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	2	・昨年度ペアレント・トレーニングの講師を招き、保護者対象の研修会を行ったが、定期的な支援は出来ていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	3	1	・契約時や内容変更時には丁寧な説明を心掛けているが、十分では無いところもあると思う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	4	1	・放課後等デイ職員だけでは解決が困難なケースもある。職員のスキルアップも必要であるが、事業所内で課題を抱え込まずに、医療機関や相談員など他機関につなげることも必要だと思う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	0	・保護者会は無いが、年に2回程度保護者懇親会を実施している。 ・入所や生活介護等の部門と合同で保護者会を開き、異世代と交流する機会があっても良いと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	0	・苦情受付担当の職員や第三者委員会が設置されているが、周知が十分ではないと思う。契約時と担当職員が変更になる事もあるため、年度初めの通信等で周知することが必要だと思う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・年10回通信を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	・保護者の同意書に基づき、注意して取り扱いをしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	・文字盤の使用や、視覚的に分かりやすいように情報伝達するなど、必要に応じて行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	2	・法人として行っている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	5	2	・防犯マニュアルは作成していない。他のマニュアルはあるものの、保護者への周知が不十分。年度初めや発動の可能性がある時期(感染症の流行時期や台風・大雪など悪天候になる可能性のある時期等)に周知する必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	・消防計画に基づいて、年2、3回避難訓練を実施しているが、そのことを保護者には周知していない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	1	・外部、内部研修や会議内で研修の機会を確保しているが、パート職員含めた全職員が参加出来ているわけではない。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	・左記のように行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	1	・現在該当者はいないが、契約の際に確認し、医師の指示に基づいた対応を行えるような体制を整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	1	・インシデント・アクシデントレポートを綴ったファイルがあるが、パート職員にその場所を明確に伝えていない。(レポートが提出された場合には都度回覧し、全職員が確認することにはなっている。)